



奈良県知事

荒井 正吾

人口減少は、日本全体の課題ですが、奈良県はその中でも急速な人口減少に見舞われている

県です。戦後、大阪のベッドタウンとして発展してきた奈良県は、県外からの転入人口が急速に増加しました。転入人口の増加が止まり、高齢化が進み、さらに子どもたちが県外に転出すると、ベッドタウン化の反動として、人口減少の坂が他県に比べ急になります。また、平成の時代、奈良県は行政効率化のための市町村合併があまり進みませんでしたので、人口減少時代における行政サービスの維持が課題となっています。

この2つの課題に対する苦肉の策が、県と市町村が協働して行政効率化を図ろうとする「奈良モデル」の試みでした。幸い、多くの市町村で「奈良モデル」の成果が見えてきています。また、国でも「奈良モデル」を人口減少という日本全体の課題に対応するモデルにしようとする動きが出てきました。人は困難があっても真摯に向き合う姿勢を徹底していれば、必ず智恵が授かると信じています。人口減少は必ずしも恐ろしいものではありません。

## 人権コーナー

毎月11日は人権を確かめあう日



## 平成30(2018)年度 人権啓発ポスター優秀作品

県民の人権意識の高揚のために募集したポスターの中から選ばれた優秀作品を一部ご紹介します。

※学校名・学年・氏名は発表時のものです。



吉野川立吉野北小学校 1年  
横谷 韶志さん



宇陀市立櫛原東小学校 4年  
森口 拓真さん



三宅町立三宅小学校 5年  
山口 碧波さん



御所市立大正小学校 5年  
平岡 麗さん



宇陀市立櫛原小学校 6年  
小島 ひなたさん



野迫川村立  
野迫川小学校 5年  
竹田 香子さん



五條市立  
宇智小学校 5年  
山口 茜奈さん



王寺町立  
王寺南中学校 3年  
鹿島 七星さん



川西町・三宅町  
式下中学校組合立式下中学校 1年  
松葉 風泰さん

## クイズ & プレゼント

正解者の中から抽選で

**奈良県民手帳を  
20名にプレゼント!**

(P25で紹介)

締め切りは10月31日  
(消印有効)



○にあてはまる文字を答えてください。

Q 人口減少に立ち向かうため、県と市町村が連携・協働して効率的な行財政運営を目指す取り組みは?

A ○○モデル

ヒントは  
4ページ

8月号の答えは“トウキ”でした。応募総数1157件。

ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。

④www.pref.nara.jp/30222.htmからも10/1以降応募できます。

※個人情報は、プレゼントの発送以外には使用いたしません。